

2022年度 第3回広報委員会 議事録

- 【日時】 2022年9月16日(金) 13:30 ~ 17:00
【会場】 ハイブリッド会議(日本代協 事務局会議室、Zoom)
【出席者】 大和委員長

| | | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|
| 北東北 | 成田 | 南関東 | 田中 | 東京 | 廣田 | 北陸 | 土田 |
| 阪神 | 由良 | 東中国 | 野呂 | 九州南 | 原田 | | |

- 【オブザーブ】 山中副会長
【事務局】 小見常務、大谷部長 【司会】 廣田副委員長 【議事録】 事務局

【委員会の要旨(確認、決定したこと)】

1. みなさまの保険情報編集会議はPT内で委員会前に行い委員会で報告する。
2. みなさまの保険情報チラシ(料金表)の改定。
3. PR動画修正案が22日(木)までに提供されるので最終確認を行う。
4. 全国会議を半年後に再度開催する(ディスカッションをメイン)。

議 事

. 挨拶

1. 大和委員長挨拶
・PR動画の初稿が上がってきており、みなさまの保険情報の推進、代協の魅力を伝えるツールの検討等、徐々に諮問事項の活動が進んできているので、引き続きお願いしたい。
・本日は、限られた時間ではあるが、委員会の方向性について討議を進めていきたいと思う。
2. 司会進行・議事録作成者の指名
・司会進行に廣田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項

1. 報告事項
(1) 第4回 理事会報告
事務局より、配布した第4回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下補足をした。
・審議事項「2022年度表彰者の選定」「第11回コンベンション企画案」「損保大学課程コンサルティングコース(2023年4月開校予定)受講者募集のブロック別目標数」「日本代協アカデミーの改定の方向性」「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023への協賛」につき審議が行われ承認された。
・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員会委員長より報告があった。
- (2) 第2回全国会長懇談会報告
事務局より、配布した第2回会長懇談会次第の内容に沿って説明が行われた。
大和委員長から、グループディスカッションについて下記補足があった。
・グループディスカッションでは、支部の活性化、役員メンバーの若返り、情報の伝達の仕方、事務局の状況について討議をしたが、各代協でも状況が違う事を感じた。
・総じて代理店数が増えない中、どのように活動していく仲間を作っていくのが共通の課題のようである。
- (3) 2021年度第1回「活力研」報告
事務局より、7/21に開催された「活力研」について報告が行われ、以下補足をした。
・今回は、「正会員実態調査結果による、代手ポイント変動のチャネル分析」「火災保険基準

代手率変更に関する対応」「ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店のコミュニケーションギャップの解消を考える」の3つのテーマで論議した。日本代協HP 会員専用書庫に公開済みの議事録と資料ならびに報告動画を掲示してある。

(4) 前回委員会の振り返り

前回の広報委員会論議内容、決定事項を議事録で確認した。

・ 審議事項

1. 「みなさまの保険情報」活用推進

(1) 2023年1月号 企画案

新日本保険新聞社の金井次長より、「みなさまの保険情報」2023年1月号の企画案が提示された。

2面以降のテーマについて、以下提案があった。

2面：「ケガ・病気に関する公的保険とそれに対応する民間保険」

3面：「後継者以外の相続人に分割する財産はありますか？」

4面：「お尻のトレーニング」

(主な意見)

- ・ 2面、3面で特定の保険会社の商品が連想されるような内容は避けて欲しい。
- ・ 3面の過去の執筆者を知りたい、生保寄りになっているので今後損保寄りの記事を検討していただきたい。

他意見無く提案内容のテーマで決定した。

1面の保険業界のテーマについては、以下の3案が提示された。

「新たな自動車盗難手口と盗難対策」

「マイ・タイムラインの紹介と防災」

「悪質な特定修理業者への注意喚起」

(主な意見)

- ・ の盗難手口については対策方法があるのか？ 複合的な対策が有効(それしかない)。
- ・ 北陸ブロックで「ハザードマップ、マイタイムライン活用セミナー」を10月に開催予定なのでのテーマを取り上げて頂けると他委員会との連携にも繋がるのでありがたい。
- ・ 保険会社のパンフレット(10月改定)にも特定修理業者の注意喚起が掲載されているので世の中の流れにも乗っていると思う。
- ・ インボイス制度についての概要をどこかのページに掲載していただきたい。
10月導入なので7月号若しくは10月号のテーマにしたらどうか。

多数決により提案された3案の中から「マイ・タイムラインの紹介と防災」を1面のテーマとすることで決定した。

(2) 10月号購入状況

10月号の購入状況は3.7%、推進方法については後ほど討議する。

次回お知らせチラシの執筆担当は廣田副委員長であることを確認した。

(3) 今後の編集会議について

次回以降は事前にPT内(由良副委員長、成田委員、土田委員、原田委員)で審議し委員会で報告、委員会では次々月号以降のテーマと推進方法を討議することとした。

2. 2022年度PR企画打合せ

PR動画の初稿動画を視聴して、修正点の意見交換を行った。

(主な意見)

- ・3 本目の動画で、自動車保険で子供の自転車事故を補償できるのは特約付帯の場合なので視聴者に誤解を生む懸念がある(言葉次第でクリアできるのではないか)。
- ・出来が良かったと思う。
- ・1 本目のBGMが大きい。
- ・思ったよりゆったりした流れに感じたが、出来は良いと思う。
- ・特定のTPが出すぎではないか。
- ・トータルプランナーのいる代理店検索で「損保協会」が大きくクローズアップされすぎている。

共同広告社、NewsTV 社からの確認事項

- ・完全視聴を目指しているので 90 秒以内の動画作成を行った(60 秒以内の方が完全視聴率は高くなる傾向)。

上記、広報委員の意見および NewsTV 社の確認事項を踏まえ 22 日(木)までに動画を修正することとなった。全体スケジュールについては 11 月中旬に提供される。

3. 広報委員会 全国一斉 Zoom ミーティング振り返り

8/26 に開催した広報委員会 全国一斉 Zoom ミーティングの振り返り(意見交換)を行った。

- ・担当地域の広報委員との連絡先が交換でき、今後の推進に効果があったと思う。
- ・情報交換(課題が解決できた)ができて有意義な会議であった。
- ・県によって温度差(担当者がいるところ、いないところがある)があることがわかった。
- ・ディスカッションの時間が短かった(もったいない)。
- ・新聞広告だけでなく TVCM を活用している代協があり参考になった。
- ・みなさまの保険情報の活用方法がわからない、という意見が多かった。まずは広報委員が申込んでみる。
- ・広報委員会の目指すところが明確になった。
- ・HP 運用が広報委員ではなく、事務局の仕事だという代協があり人材不足が否めない(若手育成が課題)。
- ・1 年に 1 回だとコミュニケーションが途切れてしまうと思うので半年に 1 回開催したらどうだろうか。
- ・アンケート結果でも高評価であった。
- ・会長時懇談会でも規模別のグループでディスカッションを行ったが大人数ではなく少人数で意見交換を行うことに意義があったと思う。
- ・広報委員会は委員 7 名で全国に伝えられるかという、なかなか難しい事でありコロナで得た Zoom 会議を活用することは、すごく効果があったのではないか。

(大和委員長より)

- ・ディスカッションで直接地域の担当者と話ができたので顔と名前が一致して、今後連絡が取りやすくなったのではないか。また、温度差が分かったことでも連絡の仕方が変わってくるのだと思う。
- ・ディスカッションが短かったので次回はもっと時間を取りたい。
- ・広報委員会の取組みを全国一斉で下ろしていきながら、縦と横に連携していく必要があると思う。
- ・ディスカッションをメインにした全国会議を半年後に行いたいと思うが、いかがだろうか？

上記意見を踏まえ 2 月(PR 動画が配信された後)に再度全国会議を行う事を決定した。

4. みなさまの保険情報推進

由良副委員長からみなさまの保険情報推進について下記意見があった。

- ・どのように配っているのか？どのように活用しているのか？に課題があるのではないか。
- ・お付き合い程度で 50 部程度の購入では重要な顧客全てに行き渡らないのではないか。

推進について各委員の意見(取組状況)を求めた。

(主な意見)

- ・委員会に所属して初めて購入した(まだ届いていない)ので、これから活用したい。
- ・購入率を上げるのに会長が積極的に声掛けをしている。
- ・まずは、購入していただき使い勝手が良いかどうか(顧客の反応)を確かめるように依頼している。
- ・購入率が10年変わっていないのは、根本的な仕組みができていないのではないか(ディスカッションでの意見)。
- ・長期契約者、生保顧客に郵送して関係をつなげられれば良いと思う。
- ・情報提供の一環としてスタッフが配布、感想を聞いてもらう。
- ・独自に情報誌を作っている会員や税理士など土業でも配布しているので、情報提供ツールとして活用する。
- ・従業員トレーニング(更改担当者)に活用している。
- ・近況報告と併せて活用している。
- ・購入意思を確認した会員へのフォロー体制(しくみ)が必要では。

次回以降実際に活用してみてもの感想と、中長期的に購入部数を増やすための討議をしていくこととなった。

・閉会・その他

1. 情報提供および本日の到達点の確認

小見常務より下記情報提供があった。

- ・今回のPR動画では、トータルプランナーのアピールが良くできているが、認定主体である損保協会も今年度初めて広告出稿を行う。今後はPR動画の在り方について討議していく必要がある。
- ・インボイス制度について、理事長・会長懇談会でも情報提供しているので改めて勉強していただきたい。

事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

2. 山中副会長閉会挨拶

- ・10月の火災改定前の忙しい時期に参加いただき感謝申し上げる。
- ・本日はハイブリッド開催ではあったが、代協活動は本来リアルで行うべきだと感じている。前回の理事会は全理事が日本代協の事務局に集まって開催されたが、リモート会議であったらコンベンションは恐らくWEB開催になっていたであろう。リアルで集まって討議した熱が伝わったのではないか。
- ・PR動画の最終カットが損保協会に繋がっていくようであったが、出来れば日本代協のHPに検索のページがあればいいのではないか、今後検討いただきたい。
- ・本日は長時間にわたりお疲れ様でした。

以上

○第4回委員会開催日：2023年1月18日(水)13:30-17:00